

# 学校法人鴨江寺学園

## 平成 28 年度鴨江幼稚園事業報告書

### 1 法人の概要

- 建学の精神      本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

- 設立の経過      昭和 25 年 3 月 14 日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可  
昭和 58 年 6 月 30 日 学校法人化への設置者変更申請  
昭和 58 年 7 月 28 日 学校法人鴨江寺学園認可  
現在に至る

- 設置する学校      鴨江幼稚園

- 園則定員      3才児      140人      5クラス  
4才児      140人      4クラス  
5才児      140人      4クラス  

---

420人

- 園児数の状況      (H28.5.1現在)
- |       |      |      |
|-------|------|------|
| 3才児   | 108人 | 5クラス |
| 4才児   | 112人 | 4クラス |
| 5才児   | 109人 | 4クラス |
| <hr/> |      |      |
| 329人  |      |      |

- 役員・教職員の概要

理事      6人  
評議員    13人

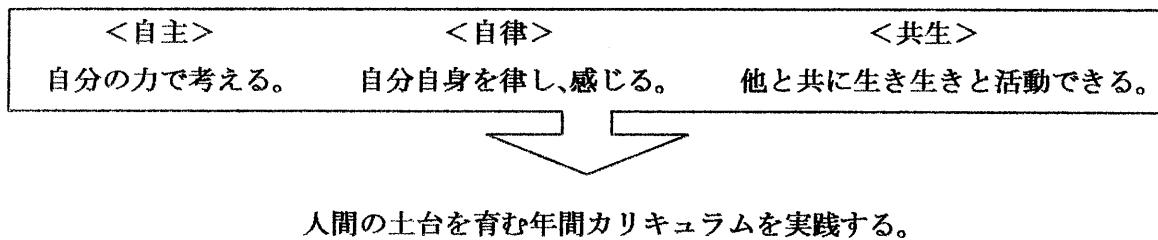
監事 2人  
教職員 31人

## 2 事業の概要

- 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

- 当該年度の主な事業の目的・計画



### <教育要領実施項目>

#### I 健康

##### 1. 行動と充実感

・体育ローテーション・オブネット英語

##### 2. 運動

・体育ローテーション・マラソン・ヤマスポーツ・運動会

##### 3. 健康・安全

・裸、裸足の励行・防災避難訓練 (保健安全計画別途記)・交通安全教室

#### II 人間関係

##### 1. 自分の力で行動する充実感

・S Iあそび・制作活動・園外保育・ゲーム遊び

##### 2. 人とのかかわり

・お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・誕生会・ヒッポ

##### 3. 社会性

・朝礼・基礎活動・給食当番・一泊保育

#### III 環境

##### 1. 自然とのふれあい

・園外保育・遠足・芋の栽培、収穫・花壇・朝顔

##### 2. 身近な環境に自分からかかわる

- ・園内遊び・花まつり・青葉祭・七夕・クリスマス・節分・涅槃会
- ・じゃが芋蒸し・餅つき

3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
  - ・タイルあそび・モンテ・絵日記・かるた

#### IV 言葉

1. 自分の気持ちを言葉で表現する
  - ・当番活動・生活発表会・劇遊び
2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
  - ・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる
  - ・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

#### V 表現

1. 美しさに対する豊かな感性
  - ・絵画・BGM・MS・読詩
2. 自分なりに表現する
  - ・劇遊び・リトミック・絵画制作・MS・発表会
3. イメージを豊かにし表現を楽しむ
  - ・ライゲン・エポック・リトミック・作文・発表会

○ 平成 28 年度は、次の点の育成に重点をおいて事業に取り組んだ。

1. 園児
  - ・児に知識を与える。——→ 考える子どもに育てる。
  - ・園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にする。
  - ・全園児の年間第 1 目標達成率は 100%であった。
  - ・第 1 目標達成者で第 2 目標に挑戦したのは全体の 30%でした。30%の子どもの第 2 目標の達成度は 100%でした。
2. 職員
  - ・自ら考えて行動する教師になる。
  - ・自分自身に誇りを持つ。
  - ・語彙を増やす。
  - ・学年主任、学年会を中心とする。

○ 事業実施の概要は以下の通りである。

実施月	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園式 8日 (午前10時・2階ホール)</li> <li>・ 春の親子遠足 23日 (浜松動物園) 心電図検査 15日(年中児)</li> <li>・ 保育参観会 19.22.23日 (午前9:50～・園内・園児)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康診断 (16・23日内科)</li> <li>・ 個人面談 9～13日 (保護者) ・ 父親参観会 5/14. 5/28.</li> <li>・ 身体発育測定(隔月実施)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父親参観会 4日 ・ S I参観 6・7・9日</li> <li>・ モンテ参観会 13・17・20日</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七夕会 7日</li> <li>・ 年長1泊保育 26～27日 (観音山・園児)</li> <li>・ 年中1泊保育 28～29日 (園内・園児)</li> <li>・ 終業式 22日</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地藏盆踊り 23日 (午後5:30～鴨江寺・園児)</li> <li>・ 始業式 25日・夏期保育 25～31日</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災訓練 1日 (園内・園児)</li> <li>・ 秋の子ども遠足 16日 (森林公園・園児)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会 8日 (午前9:00～・西小学校・)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児生活発表会 17日 (午前10:00～・はまホール・園児)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もちつき 14日 (園内・園児)</li> <li>・ クリスマス会 22日 (園内・2階ホール・園児)</li> <li>・ 終業式 22日</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人面談 16～20日</li> <li>・ 年長卒園遠足 28日 (日本ランド・園児)・交通教室年長 12日</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節分 3日 (午前11時～・2階ホール)</li> <li>・ バザー4日</li> <li>・ 涅槃会 15日</li> <li>・ 参観会 21.23.24日</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひなまつり 3日</li> <li>・ 卒園式 15日 (2階ホール)</li> <li>・ 修了式 16日(2階ホール)</li> </ul>

○ 子どもの安全・健康対策

- ・園児の健康管理 — H28/5・6月 内科・歯科検診実施
- ・部外者への侵入対策 — H28/6月・1月 防犯訓練実施
- ・園内での事故防止対策 — 週1回 遊具総点検
- ・交通事故防止対策 — H28年6月・H29年1月 交通安全教室実施
- ・施設設備の点検 — 電気・エレベーター隔月点検委託実施、  
月初め施設設備自主点検実施
- ・地震対策 — H28/5・9・10・12・H29/3月 地震避難訓練実施
- ・火災予防対策 — H28/4・7・8・11・H29/2月 火災避難訓練実施
- ・新型インフルエンザに対する予防・流行防止対策に努める。
- ・給食等、食中毒の予防に努める。

○ 子育て支援活動

- ・預かり保育 ○月～金の登園日 15:00～18:00 ○夏、冬、春休み 8:10～18:00  
実施し、1日平均15名が利用した。
- ・チャイルドクラブ、ひよこクラブ — 2歳児の親子に園を開放、子育て相談に応じる
- ・チャイルドクラブ各学期100名ほどの幼児が参加しました。
- ・ひよこクラブには各学期60名ほどの幼児が参加しました。
- ・地域の未就園児を、行事に招待し園児との交流を図っている。各行事平均120名ほどの参加者があった。
- ・在園児の保護者の子育て、教育相談にはその都度応じた。
- ・言語に問題がある子どもの保護者と話し合い理解を得て、言葉の教室への通級をすすめ、就学前までにかかなりの成果がみられた。

### 3 財務の概要

○ 経年比較 別紙参照

○ 当該年度の計算書類の財務分析

- ・新入園児申込み目標数（最低卒園児数の確保）油断できない現状である。
- ・教育効果を損なわない経費支出の見直すこと。
- ・新入園児獲得に向けて、まず、在園児と保護者が喜んでもらえるよう日々の保育に携わる教職員の意識の高揚・資質の向上に努めなければならない。

以上

平成29年5月18日

学校法人鴨江寺学園

鴨江幼稚園

理事長・園長 建部 仁洋

## I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策

結果：各学年ごとの話し合いなどいわゆる「報告・連絡・相談」は基本的には出来ているため、計画性を持ってさまざまな活動が行われているようである。

改善策：環境構成などをつねに確認し、改善する点を考える。また計画を立てる時には時間的にも余裕をもって行う。

## II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策

結果：園児との対応に集中しすぎて、その他の周囲に気を配ることを怠ってしまう教師も見受けられた。また普段は「報連相」が出来ているのだから、急な変更等に見落とし等が出ていることがある。

改善策：教師の連携を、さらに実践に落とし込めなければならない。園児とのかかわりでは今以上に安全面に配慮しなければならない。

## III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策

結果：教師としての資質としては十分満足のいく点ではあるが、一部の教師には言葉遣いや方言など、細かなことではあるが、改善点が見受けられる。

改善策：園児の見本となる教師とならなければならない。その中でも「言葉遣い」（方言を含めた）を丁寧にしなければならない。

## IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策

結果：保護者と保育者との関係性については、千差万別さまざまである。保護者とのコミュニケーションは全ての教師の課題である。

改善策：保護者に対して苦手意識のある教師は克服していかなければならない。保護者への情報発信が滞らないようにする。挨拶・言葉遣いを社会人として最低限のマナーとして身につけなければならない。

## V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策

結果：園として地域とのかかわりが比較的薄い園ではあるが、近所の方々への挨拶等はしっかりとできている。

改善策：園児が歌などを披露する場をもっと作る。子どもたちも挨拶を徹底する。

## VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

結果：課題・目的・目標など、教師自身が向上心を持っているものが少ないように感じられる。

改善策：常に向上心を持って思考行動するよう指導する。教師一人ひとりが自己目標をしっかりと立てて行動・検証していくよう勇気づける。

## VII 「外部アンケート」からの検証結果及び改善策

結果：毎年同じとなるが「子ども」は自分から話すことが出来ていないことが多い。「教師」は比較的高評価ではあるが、健康安全面で注意が必要である。「幼稚園」は総じて評価が低くなる傾向にあるが、その中でも園の雰囲気・健康安全面・情報伝達・相談面で努力が必要である。

改善策：幼稚園ではこれらのことを踏まえ改善しなければならない。担任と園児との信頼関係を強くする。園全体に関する思考を持つこと。自己研鑽を重ね笑顔で対応する。


平成28年度外部評価書（学校関係者評価委員会）

目標・指標（評価項目）


評価分類内容	評価	外部評価分析
①建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化している。	A	教育理念・教育目標ともに明文化されており、概ね周知されている。
②教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえ編成し、幼児の実態・環境を踏まえ必要に応じて見直している。	A	適期教育を掲げて、幼児の段階にあった教育がなされおり、保護者の望む教育ができています。
③園の教育理念や教育方針を教職員で共通理解を図っている。	B	日々の仕事に追われ、大きな教育目標を忘れていた教員がいる。
④教育計画や保育内容、行事など教師間で定期的かつ必要に応じ議論実践できる体制がある。	A	教師同士の話し合い・意思疎通は出来ている。
⑤個々の幼児について、教職員が理解しあい幼児の実態に合わせた教育内容の精選を図っている。	A	個々の幼児については各教師等で話し合い、共通の課題をもっている。
⑥幼児が人と関わる力を育めるようにし、互いに協調できる環境を確保している。	A	各幼児の特徴を捉えた対応が出来ている。
⑦教職員の資質向上のため、外部研修・園内研修を実践する体制や環境を整備している。	A	外部研修等は出来ている方である。
⑧個々の教職員が自己課題（点検・評価）を把握し、その課題を達成する指導体制がある。	B	自己評価で反省をすることはできるが、その先の改善にまで至らないことがある。
⑨幼児が安心して様々な体験や活動ができるよう、適切な環境を創意し整備に努めている。	B	環境整備に力をいれ、幼児が多岐にわたる経験をできるように工夫しなければならない。
人事管理	A	適切にされている。
安全管理	B	適切にされている。
財務管理	A	適切にされている。
法人管理	A	適切にされている。
事務管理	A	適切にされている。

平成29年3月31日

鴨江幼稚園学校関係者評価委員会代表

鈴木重道 

学校法人鴨江寺学園 理事長

建部仁洋 

# 資 金 収 支 計 算 書

平成 28年 4月 1日から  
平成 29年 3月 31日まで

## 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	116,900,000	121,060,100	△ 4,160,100
手数料収入	0	0	0
寄付金収入	0	1,232,600	△ 1,232,600
補助金収入	61,397,000	61,914,000	△ 517,000
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	25,000,000	28,068,050	△ 3,068,050
受取利息・配当金収入	120,100	123,584	△ 3,484
雑収入	3,070,000	3,346,424	△ 276,424
借入金等収入	450,000,000	139,040,220	310,959,780
前受金収入	4,000,000	3,460,000	540,000
その他の収入	76,000	190,212	△ 114,212
資金収入調整勘定	△ 2,970,000	△ 3,290,000	△ 320,000
前年度繰越支払資金	466,434,968	466,434,968	
収入の部合計	1,124,028,068	821,580,158	302,447,910

## 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	118,830,000	117,941,683	888,317
経費支出	62,850,000	56,648,397	6,201,603
借入金等利息支出	1,100,000	582,916	517,084
借入金等返済支出	5,010,000	5,010,000	0
施設関係支出	593,000,000	588,939,227	4,060,773
設備関係支出	7,000,000	3,880,108	3,119,892
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	735,790	735,790	0
(予備費)	( 0 ) 1,000,000		1,000,000
資金支出調整勘定	△ 600,000	△ 298,688,816	△ 298,088,816
翌年度繰越支払金	335,102,278	346,530,853	△ 11,428,575
支出の部合計	1,124,028,068	821,580,158	302,447,910



# 事業活動収支計算書

平成 28年 4月 1日から  
平成 29年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	116,900,000	121,060,100	△ 4,160,100
		手数料	0	0	0
		寄付金	0	1,232,600	△ 1,232,600
		経常費等補助金	61,397,000	61,914,000	△ 517,000
		付随事業収入	25,000,000	28,068,050	△ 3,068,050
		雑収入	3,070,000	3,346,424	△ 276,424
		教育活動収入計	206,367,000	215,621,174	△ 9,254,174
	事業活動支出の部	人件費	118,830,000	117,941,683	888,317
		経費	77,850,000	71,319,750	6,530,250
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	196,680,000	189,261,433	7,418,567
	教育活動収支差額	9,687,000	26,359,741	△ 16,672,741	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	120,100	123,584	△ 3,484
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	120,100	123,584	△ 3,484
	事業活動支出の部	借入金等利息	1,100,000	582,916	517,084
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,100,000	582,916	517,084
	教育活動外収支差額	△ 979,900	△ 459,332	△ 520,568	
経常収支差額		8,707,100	25,900,409	△ 17,193,309	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	100,000	0	100,000
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	100,000	0	100,000
		特別収支差額	△ 100,000	0	△ 100,000
(予備費)		( 0 )	-	1,000,000	
		1,000,000	-	1,000,000	
基本金組入前当年度収支差額		7,607,100	25,900,409	△ 18,293,309	
基本金組入額合計		△ 150,000,000	△ 155,720,715	5,720,715	
当年度収支差額		△ 142,392,900	△ 129,820,306	△ 12,572,594	
前年度繰越収支差額		226,087,861	226,087,861	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		83,694,961	96,267,555	△ 12,572,594	
(参考)					
事業活動収入計		206,487,100	215,744,758	△ 9,257,658	
事業活動支出計		198,880,000	189,844,349	9,035,651	

# 貸借対照表

平成29年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前年度末	増 減
固定資産	850,331,758	272,183,776	578,147,982
流動資産	346,850,853	466,510,968	△ 119,660,115
資産の部合計	1,197,182,611	738,694,744	458,487,867
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前年度末	増 減
固定負債	0	0	0
流動負債	442,303,566	9,716,108	432,587,458
負債の部合計	442,303,566	9,716,108	432,587,458
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前年度末	増 減
基本金	658,611,490	502,890,775	155,720,715
繰越収支差額	96,267,555	226,087,861	△ 129,820,306
純資産の部合計	754,879,045	728,978,636	25,900,409
負債及び純資産の部合計	1,197,182,611	738,694,744	458,487,867

# 財 産 目 録

平成29年3月31日

科 目	年 度 末
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 土地 1,973.25 m <sup>2</sup>	137,556,507 円
1 建物 園舎 3,634.99 m <sup>2</sup>	640,443,877 円
2 図書 一式	595,255 円
3 教具・校具・備品 園児用机・椅子728点 他 377点	13,566,479 円
4 構築物 22点	46,924,536 円
5 車輛 バス 4台	4 円
6 借地権 校地 5,194.28 m <sup>2</sup>	4,990,000 円
7 施設利用権 水道施設利用権	799,880 円
(二) 運用財産	
1 現金、預金	346,530,853 円
当座預金 浜松信用金庫	153,485 円
普通預金 三井住友銀行、浜松信用金庫	62,081,193 円
定期預金 浜松信用金庫	280,296,175 円
定期積金 浜松信用金庫	4,000,000 円
2 未収入金 浜松市私立幼稚園協会からの補助金	320,000 円
3 協会預け金 静岡県私立幼稚園振興協会預け金	5,434,920 円
4 出資金 浜松信用金庫出資金	10,000 円
5 電話加入権 1本	10,300 円
合 計	1,197,182,611 円
二 負債額	
1 流動負債	442,303,566 円
(1) 短期借入金 浜松信用金庫	139,040,220 円
(2) 未払金 こども園園舎建設代金の未払額 未払税金他	298,688,816 円
(3) 前受金 来年度入園料前受	3,460,000 円
(4) 預り金 3月分 共済事業団 源泉徴収税額 他	1,114,530 円
合 計	442,303,566 円


# 平成 28 年度監査報告書


平成 29 年 5 月 11 日

学校法人 鴨江寺学園

評議員会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 冨近快泉 

監事 大前弘雄 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は無いものと認めました。

以 上


# 平成 28 年度監査報告書

平成 29 年 5 月 11 日

学校法人 鴨江寺学園

理事会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 冨近快泉 

監事 大前弘雄 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は無いのと認めました。

以 上